

製品名: エンセファロプシンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10457**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	OPN3
別名	OPN3; ECPN; Opsin-3; Encephalopsin; Panopsin
遺伝子 ID	23596.0
SwissProt ID	Q9H1Y3
免疫原	抗血清はヒトエンセファロプシン由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

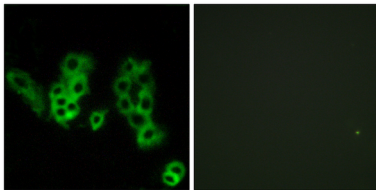
背景

オプシンは、グアニンヌクレオチド結合タンパク質（Gタンパク質）共役受容体スーパーファミリーのメンバーです。哺乳類は、視

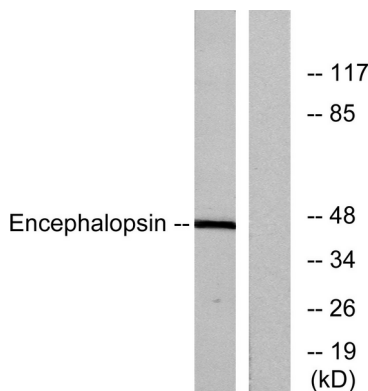
覚オプシンに加えて、眼外組織で発現する光受容性の非視覚オプシンをいくつか有しています。この遺伝子 (オプシン 3) は、脳と精巣で強く発現し、肝臓、胎盤、心臓、肺、骨格筋、腎臓、膵臓で弱く発現しています。また、網膜でも発現している可能性があります。このタンパク質は、光受容性オプシンタンパク質の標準的な特徴を備えています。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: 脳の光受容に参与している可能性があります。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。オプシンサブファミリー。組織特異性: 脳で強く発現しています。視床下部の視索前野および室傍核で高発現している。脳の他の領域でも高度にパターン化された発現を示し、大脳皮質の特定の領域、小脳プルキンエ細胞、線条体ニューロンのサブセット、特定の視床核、および脊髄前角の介在ニューロンのサブセットに多くみられる。

研究分野

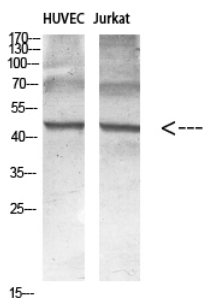
画像データ



エンセファロプシン抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



エンセファロプシン抗体を用いたマウス脳ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



各種細胞ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は 1:1000 に希釈。二次抗体は 1:20000 に希釈。